

自己紹介

西暦 2020 年 4 月 1 日現在

ふりがな	しゅんらん しゅうぎく	
氏名	春蘭秋菊	
所属	北海道大学文学院 修士 2 年 (アニ研 6 年目)	※ ♂ ・ ♀



西暦	月	アニ研での履歴
2015	4	北海道大学アニメーション研究会 入会
2015	4	しりとりアニメ 2015 参加 (原画)
2015	6	こんにちは!パティシエール 参加 (原画)
2016	4	しりとりアニメ 2016 参加 (原画)
2016	6	泳げなぎさ 参加 (原画、彩色、編集、学祭パンフ責任者)
2017	4	しりとりアニメ 2017 参加 (原画)
2017	6	マイキャラカードバトル 参加 (原画、彩色、編集、学祭パンフ責任者)
2017	8	自主制作作品 1 作目 絵で学ぶ日本史 制作・完成
2018	3	新歓・新人教育用アニメ アニメの作り方 参加 (監督・脚本・原画・編集…etc)
2018	4	しりとりアニメ 2018 参加 (原画)
2018	6	大学生の夏休み 参加 (原画、着色、編集、背景、学祭パンフ責任者)
2018	7	自主制作作品 2 作目 おきがえブレスレッド暴走中! 制作・完成
2018	8	自主制作作品 3 作目 執達如件 制作・完成
2018	9	自主制作作品 4 作目 PENDANCE 制作・完成
2018	10	自主制作作品 5 作目 セツダンメン 制作・完成
2019	4	しりとりアニメ 2019 参加 (原画)
2019	5	自主制作作品 6 作目 プール 制作・完成
2019	6	北大アニ研公式キャラ決定戦 参加 (原画・彩色・編集・音声・学祭パンフ責任者)
2020	4	しりとりアニメ 2020 参加予定 (原画)
2020	6	雪猫 参加・完成予定 (彩色)

記入上の注意 1: 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。2: ※印のところは、該当するものを○で囲む。

その他のアニ研での職歴
運営 3 役・会計 3 期間 従事
2017 年度新歓看板 下書き係 (AKIBA'S TRIP)
HALP 編集長 (No.44・47)、表紙 (No.36・39)
会誌デジタルデータ化作業・ビデオテープディスク化作業 実行委員

自由コメント

アニ研に入って 6 年目になりました。現在は目下、就職活動中なので新入会員の皆さんに会えていないか分かりませんが、部室内に見慣れないメガネがゲームをしてるか、アニメをおもむろに再生して見ていたらそれは私だと思いますので、優しくしてやってください。作品制作の方も胸の重荷がおりましたら、どんどんお手伝いしたいと思います。最後の 1 年ですので、悔いなく大学生活をアニ研に捧げて終えたいなあと思っています。よろしくお祈りします。

自己PRギャラリー



↑「おきがえプレスレッド暴走中」より



↑「執達如件」より



↑「アニメの作り方」より



↑「絵で見て学ぶ日本史」より



↑「北大アニ研公式キャラ決定戦」より



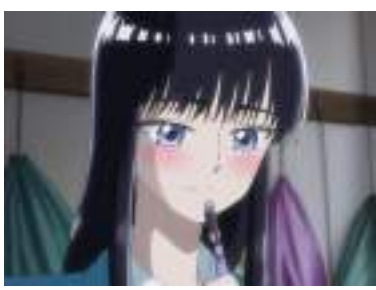
↑現在自主制作中の新作より

好きなアニメ

『ああっ女神さまっ』、『逮捕しちゃうぞ』、『げんしけん』(2代目は除く)、『魔法先生ネギま!』(2期)、『おねがい』シリーズ(特にティーチャー)、『あの夏で待ってる』、『ハイスクール・フリート』、『せいぜいがんばれ魔法少女くるみ』、『ガールズバンドパンサー』、『らんま 1/2』、『藍より青し』、『千と千尋の神隠し』、『美少女戦士セーラームーン』、『うる星やつら 2 ビューティフルドリーマー』、『あそびにいくヨ!』、『NEW GAME!』、『幸腹グラフィティ』、『ゆゆ式』、『トップをねらえ!』、『サクラ大戦』、『生徒会役員共』、『SHIROBAKO』、『キラッとプリ☆チャン』、『花右京メイド隊』、『HAND MAID メイ』、『パプリカ』、『氷菓』、『この中に 1 人、妹がいる!』、『ハイスクール D×D』、宮崎吾朗作品(ローニャ除く)、『大正野球娘』、『SHOW BY ROCK!』、『三者三葉』、『図書館戦争』、『みなみけ』、『神のみぞ知る世界』、『ポケットモンスターXY』、『絶対可憐チルドレン』、『そにアニ』、『ふしぎの海のナディア』、『ルパン三世』シリーズ、『ヤマノススメ』、『シティーハンター』シリーズ、『あずあなが大王』、『俺の彼女と幼馴染が修羅場過ぎる』、『ラストエグザイル』、『じょしらく』、『武装神姫』、『となりの怪物くん』、『らいむいろ戦奇譚』、『ファンタジスタドール』、『アウトブレイクカンパニー』、『ステラ女学院高等科 C3 部』、『きんいろモザイク』、『悪魔のリドル』、『あいまいみー』、『GJ 部』、『アマガミ』、『ひだまりスケッチ』、『ツインエンジェル BREAK』、『リトルウィッチアカデミア』、『鬼平』、『ブレンド・S』、『カードキャプターさくら』、『HUG っと! プリキュア』、『かぐや様は告らせたい』、『ひとりぼっちの〇〇生活』、『エースをねらえ!』(出崎版)、『フリクリ』、『桜 trick』、『宇宙戦艦ナデシコ』、『こいこい 7』、『この素晴らしい世界に祝福を!』、『灼熱の卓球娘』、『AKIBA'S TRIP』などなど

新入会員へメッセージ

この会誌を読んでいるということは少なからずアニメに興味があるのだと思います。最近公開された映画「SHIROBAKO」のキャッチフレーズに「アニメを作るのは面白い、だからアニメも面白い」というものがあります。今まで皆さんはおそらく、アニメを視聴することでアニメの魅力や面白さを知ってきたと思いますが、このアニ研ではその面白さを生み出すという新たな魅力を知ることができます。現在アニメーション制作を恒常的に行っているのは北海道の大学サークルでは北大アニ研だけですので、北大アニ研以外ではこのような経験をするのは難しいと思います。私はこのサークルで過ごした年月が自分の人生の中で大きな財産になったと信じています。あなたもそんな経験をこのサークルでしてみませんか？



アニ研に入るメリット ～春蘭秋菊の場合～

「アニ研に入るメリット・デメリット」というテーマということで、まる5年間アニ研に所属してきた私の経験からメリットを話したいと思います。以前からOBの先輩によく私はこんなことを言われていました。「菊地君と俺のアニメの好みって完全に正反対だと思うんだよね。」と。ええ、ええ。私もそう思います。私も先輩もですが、それを悪いことだと思っているとか、ましてや喧嘩しているわけではありません。むしろ笑顔でそんな話をするのです。私の思うアニ研に入るメリットは「アニメの好みが違う仲間たちと交流するからこそ、自分だけでは出会えなかった数多くのアニメとの出会いがある点。そしてそれによって以前よりもアニメが好きになった自分がいるという点」だと思います。自分一人では出会えない多くのアニメとの出会い。その実体験をいくつか紹介したいと思います。

①『あいまいみー』と『おにゃんこポン』

・アニ研に入ってまず驚いたのは、『あいまいみー』なる得体のしれないアニメが繰り返し垂れ流されていることでした。崩れた作画、論理が崩壊している展開とセリフ、倫理観の欠如したキャラクター、何をとってもアニメ温室育ちの私には新鮮な作品でした。そのとき、気づかされました。アニメの魅力はお行儀の良い展開や、容姿端麗なキャラクターに集約されるものではない。型にはまらない破天荒であるからこそその面白さ・美しさがあるのだと。数年後、京風トマト制作の『おにゃんこポン』の存在が先輩によってアニ研にもたらされたときは、他の会員たちと一緒に画面に向かって腹をかかえて笑っている私の姿がありました。既存の評価軸にとらわれず、作品を愛し抜く姿勢は今でも大切にしたいと思っています。



「あいまいみー」より



「おにゃんこポン」より



「Gガンダム」より

②ガンダムシリーズとの出会い

・実は私はアニ研に入る前にガンダムを全く見たことがない、ガンダム素人でした。勿論、ガンダムという作品は知っていましたし、アニメ史における功績も知っていました。しかし、「ロボットに乗って戦争し続けるアニメの何が面白いの?」と心の底では思っており、作品人気への反骨心からか一度もその内容を見ようとしたことがありませんでした。きっとアニ研に入らなければ一生見なかったかもしれません。ですが、アニ研で仲間たちとガンダムを見て、Gガンダムやビルドシリーズのような多様な世界観や、ポケモン(ポケットの中の戦争)のような私の胸を打つ作品があることを知り、自分の思っていた以上に、作品の敷居が高くないことに驚きました。ガンダムシリーズはキャラクターが皆、真剣に生きているからこそ笑えてくる悲喜劇なのだを知ると、以前のような苦手意識はなくなっていました。今では、お気に入りのモビルスーツ(ビルドシリーズのベアッガイ)もあり、楽しく視聴しています。ガンダムって難しいな、見たことなく恥ずかしいな、と思っている新入会員は、私と一緒にガンダムを見ませんか。



「ガンダムビルドファイターズ」より

③プリキュア&ポケモン～子供向けアニメ再訪

・子供のころはあんなに楽しんで見ていた子供向けアニメ。大学生にもなって、見ていたら恥ずかしいとか、大人目線ではつまらないのではないかと考えていませんか? 私も正直、なめている面はありました。しかし、アニ研でアニメ制作に携わったからこそ実感できる子供向けアニメの凄まじさというものがあります。休日に放送されている子供向けアニメは大人の鑑賞にも堪えうるクオリティ・ストーリーともに高度なコンテンツだと今更ながら思い知ったのです。例えば、30分の短時間に起承転結を盛り込む構成や、子供に夢を与えるからこそ落とせない作画クオリティ、視覚的にメッセージを訴える演出などは、アニメを一度でも作ればその次元の高さにすぐに気づきます。私はアニ研内でも、対外的でも聞かれれば胸を張って、「プリキュア・ポケモンは面白いです。」と言えますし、実際に言ってもいます。何も恥ずかしいことはありません。作り手を、そして作品を心からリスペクトできる。それはアニメ好きとして本当に誇りに思えることだと思います。



「HUGっとプリキュア」より



「ポケモンXY」より

④未知の入り口はそこら中に!?!~アニメの海は底知れず

・私は元々、ラブコメだったり、ドタバタコメディ的な作品が好きでしたが、アニ研に入ることによって以前では考えられないようなジャンルのアニメに触れることになりました。ここは少し簡条書きで見てください。

A)ホラー：洋画でもパニック系は好きですが、ホラーは苦手でした。ですが、ある日後輩の一人が、レンタルビデオで「ひぐらし」を借りて来たので、先輩として面目もあって一緒に見ることになりました。結論を言うと本当に怖い。今でも一人では見れないかもしれない。ですが、一度も見たことないのと、一度は頑張ってみたのでは、やはり経験の質として大きな違いだと思います。それ以来、他のアニメで「ひぐらし」のパロディが出たらすぐに気づけるようになりました。



「ひぐらしのなく頃に」より

B) 男性アイドルもの：女性アイドルアニメは好きな私ですが、やはり男性アイドルものは「女性対象のアニメでしょ?」的な誤解もあり、あまり見る気にはなれませんでした。しかし、ある日部室内で「むりっしょ」「いけるっしょ」という謎の掛け合いが流行していることに気づきました。先輩に聞くとどうやら、そのクールで放送されていた男性アイドルものアニメから来たものであるとのこと。その後、会員宅でタコパをした際に初めてそのアニメを見て驚きました。なんて面白いんだろう。アニメという作品を楽しむのに男性向けとか女子向けとかつまらない垣根は関係ない、面白い作品はただ面白い、それだけなんだ。それ以来、男性アイドルものも気になる物は積極的にチェックするようになりましたが、依然としてその作品を超えるものには私の中では出会えていません。それぐらい私にとって印象深い作品になりました。



「ドリフェス」より

C) NHKEテレ系アニメ：アニメが好きなお友達でも、NHKの教育で放送されているような、知育アニメに興味がある方は少ないと思います。しかし、アニ研はアニメであればそれも範囲に含める懐の広さがあります。NHKのアニメは自主制作的な作品から、ストップモーション的な作品など、アニメの形態を学ぶことができるだけでなく、それを高い水準で知ることができます。何度も言いますが、アニ研でアニメ制作に携わったからこそ分かる、作品の凄さや奥深さがそこにあるのです。特に私のお気に入りには、「びじゅチューン」です。以前、同期の南野これ式君と何気なく話していてその話題になり、彼もその番組に造詣があったので、アニ研会員は本当にアニメが大好きなのだなと感動した覚えがあります。



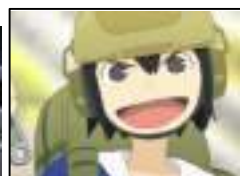
「びじゅチューン」より

D) 出崎さん?今さん?押井さん?湯浅さん?

：皆さん、上の方々がそれぞれ誰か分かりますか。彼らはアニメ業界ではかなり名の知れた（知らないと本当にヤバいくらいの）演出家・監督さんたちです。アニ研の会話ではバンバンこんな制作側の人々の名前が出るのですが、私は入会当時、彼らのことは誰一人知りませんでした。それどころか、細田守も新海誠も知りませんでした。アニ研に入る前の私の判断軸は、作品単体であり、あとは声優程度のものでした。しかし、アニ研に入ってアニメを見ていく中で、作り手や制作スタジオによっても作品の雰囲気や仕上がりは異なること、クリエイターで見る作品を選ぶことで新たなアニメ鑑賞の形が発見できることを知りました。アニメを崇高なアート作品だと言うつもりはありませんが、アニメにとってクリエイターは画家であり、作品一つ一つは描かれた絵画です。画家が同じなら、描きたい内容や思考もなんらかの一貫性がキャンバスを隔てても生まれてくるはず。この作品はこの監督だからこの描写に力を入れている、このカットを描いたのはあの原画マンだからこの動きが強調されていると思って鑑賞する方がアニメを深いレベルで楽しめると思います。



出崎作品より



湯浅作品より



今作品より



押井作品より

⑤通への入り口～トランスフォーマー入門

・ある日の研究室の飲み会で、ある教授にアニメが好きだとの話をしたところ、こんな話をされました。「本当のアニメオタクというのはね、つまらないアニメでこそ笑えなきゃならない。そう例えば、トランスフォーマーみたいなアニメでね。」と。私は笑ってこう答えました。「そうですね。初期のトランスフォーマーは制作体制の問題もありますし、とにかくコンボイ司令官が面白いですよ。」と。教授は驚いていました。実はアニ研で、トランスフォーマーは視聴済みであり、勿論先輩たちとひとしきり笑った後だったのです。このような話に対応できたのも、アニ研にいたからこそだったと思います。教授の言葉を借りるのなら、アニ研に入り様々なアニメに出会うことですのでアニメオタクの入り口に立っていたのかもしれませんが。アニ研に入っているんなアニメを見ることで、一般的なアニメ好きの水準を超えるほどにアニメに触れていたのです。これって意外とすごいことだと思います。



「トランスフォーマー」より

⑥今期アニメは？～アニ研で聞こえる魔法の質問

・アニ研に入れば、何かと今期放送されているアニメの話になります。否が応でも放送中のアニメの情報が耳に入るので、もはやアニメを見ず嫌いではられません。アニメに触れることが多くなることは必然です。そのなかにはきっと、今までには気にもならなかった作品の中に自分にとって光るものを見つけることがあると思います。そのような出会いに感謝し、素直な気持ちでアニメに向き合ってみてください。見てみて面白くないならそれで構いません。少しでもみて自分で判断することが大事なのです。アニメとの出会いは一期一会です。そのような機会が少しでも多いほうがアニメが好きな皆さんの人生にとってはきっと有意義だと思います。



「ゆゆ式」より

・さて皆さんいかがだったでしょうか。少しでもアニ研に興味を持ってくれたでしょうか？私が言いたい「アニ研に入るメリット」は自分では想像もつかないようなたくさんのアニメに出会えること。これにつきます。もっとアニメを楽しみたい。アニメを楽しむ新たな視点が知りたい。そして、実際にアニメを作ってみたいと思う方はぜひアニ研に入ってみてくださいね！！



それでは
ご精読ありがとうございます。
ございました。



name: 天沢一

Affiliation: 経済学部

Job: 髯 (たたいい全部)

好きな声優: 釘宮理恵

好きなアニメ: 髯が美しい作品

コメント:



メリット

- ・今まで絵を描いていなくても、
年で結構描けるようになる。
- ・フタフタにと、環境が良い。
- ・常識人が多い。
- ・お絵描きが大好きになる！

デメリット

- ・お絵描きで苦しむ。。。。
- ・アニメで論争になるかも。
- ・冬がしんどい。